

様式（第6条関係）

会 議 録

会 議 名	第23期小金井市公民館企画実行委員の会議 第12回		
事 務 局	小金井市公民館 緑分館		
開 催 日 時	平成27年7月7日（火）午前10時～12時		
開 催 場 所	小金井市公民館 緑分館 集会室		
出 席 委 員	大野委員、金田委員、森実委員、吉田委員		
欠 席 委 員	山本委員		
事 務 局 員	和田主任、藤原主事、山本（非常勤）		
傍 聴 の 可 否	可	傍聴者数	1 人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会 議 次 第	1 報告事項 (1) 成人大学講座について (2) 陶芸入門講座について (3) 成人学校 共働夢農園野外研修について (4) 生活日本語教室 ボランティアスタッフ募集について 2 協議事項 (1) 成人学校の題材について 3 その他		

1 報告事項

和田：まず、公民館運営審議会についてですが、先月は開催されませんでしたので、特に報告することはありません。

(1) 成人大学講座について

藤原：平成27年度成人大学講座を9月5日、12日、19日のいずれも土曜日に実施いたします。会場は、東京農工大学小金井キャンパスの科学博物館3階講堂です。詳しくは配布いたしましたチラシをご覧ください。担当の企画実行委員は大野さんと金田さんですので、よろしく願いいたします。募集記事を8月15日号の市報に掲載いたしますので、企画実行委員のみなさんもお知り合いなどにお声かけをお願いいたします。

(2) 陶芸入門教室について

藤原：こちらにも配布いたしましたチラシを見ていただきたいのですが、9月24日から12月3日まで、12回にわたって毎週木曜日に陶芸入門教室を実施いたします。講師は、昨年と同じ陶芸家の松本芳実さんです。定員は24名で、応募者多数の場合は抽選にて受講生を決定いたします。こちらの講座は、担当企画実行委員がまだ決まっていません。主な仕事内容といたしましては、講師の補助、粘土や道具、受講生が作った作品の運搬などの雑用です。どなたかやっていただけませんか。

森実：この講座は毎週午後からですか？

藤原：そうです。

森実：木曜日は用事があるのでお手伝いすることができません。

藤原：では、森実さん以外全員に担当していただいて、交代でお手伝いいただくというのはいかがでしょうか。

全員：それで結構です。

藤原：それでは、みなさんで話し合っ、それぞれのご都合に合わせてお手伝いに来ていただく日を決めてください。

(3) 成人学校 共働夢農園野外研修について

和田：10月22日に共働夢農園の野外研修を実施いたします。行き先は千葉県八街市の落花生の観光農園です。共働夢農園では、今年度から落花生の栽培を始め、根菜類の栽培も学びたいという声もありましたので、とてもいい機会だと思います。しかも、八街市が観光農業を推進しているので、今回は現地までの交通手段となる大型バスの手配や見学先の選定などもしていただきました。バスの定員にまだ少し余裕がありますので、企画実行委員のみなさんご希望があれば参加することができます。

大野：私は参加します。

(4) 生活日本語教室 ボランティアスタッフ募集について

和田：7月1日号の市報に生活日本語教室のボランティアスタッフ募集の記事が掲載されました。現在15人の方から問合せがあり、そのうちの10人の方の申込を受け付けました。7月31日、8月1日に説明会を実施する予定ですが、応募者多数の場合は抽選になります。

大野：生活日本語教室ではどのようなことをやるのですか？

和田：外国人に日本文化を教えたり、日本で生活していて困ったことがあれば相談に乗ってサポートしてあげたりします。

森実：市内在住の外国人に日本語を教えています。

資格がなくても意欲があればどなたでもボランティアスタッフとして参加できます。

吉田：この場合の資格とはどういったものを言うのでしょうか。

森実：日本語教育能力検定の合格者、外務省認可の日本語教師養成講座を修了者、日本語学科の大学院の卒業生などです。

吉田：昨年のボランティアスタッフの応募状況はどうだったのですか。

和田：毎年募集しているわけではなく、大幅に人数が減った時だけ募集しているので、去年は募集していません。

森実：先ほど応募者多数の場合は抽選という話が出ましたが、私は抽選というのはいかがなものかと思えます。

和田：抽選というのはこちらが決めたことではないので、ボランティアスタッフの代表と話し合ってみます。

ところで、生活日本語教室では9月19日に鎌倉への野外研修を予定しております。行き先は、長谷寺、長谷の大仏、建長寺などです。バスの座席数に余裕がありますので、企画実行委員のみなさんもお都合が合う方は是非ご参加ください。

2 協議事項

(1) 成人学校の題材について

和田：成人学校について、前回、戦後70周年をテーマにした講座の提案がありましたが、具体的に話を進めていきたいと思えます。

森実：講座案について考えてきたのですが、「昭和を考える～戦後70周年～」というテーマで、3回の講座を考えました。その3回というのは、歴史について、野外研修、調理自習です。歴史についての講座は、満州事変、戦中、戦後処理、高度成長期の4つのテーマに分けて大学の先生などに講義してもらいます。野外研修は、小金井の戦争遺跡を文化財センターの多田さんに案内して頂

きたいと思っています。調理は、戦時中の料理を再現してみてもどうかと考えています。

藤原：歴史の講座は4つのテーマに分けるとのことですが、それは1回の講座の中で4つに分けるのですか。それとも、講座自体を4回に分けるのですか。

森実：一回の講座の中で4つのテーマについて話してもらいます。

和田：野外研修はバスを使用して行いますか。

森実：公共の交通機関を使って徒歩で行けるところがいいと思っています。

和田：戦後の歴史について講義していただく先生や、野外研修で案内していただく文化財センターの多田さん、戦時中の料理を再現していただく小金井在住の料理研究家の方などと交渉をしてみます。

次回 平成27年8月4日(火) 午前10時から公民館緑分館、集会室

以上

